

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立特別養護老人ホーム港南の郷						
指定管理者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	44	41	3	12	0	12	0	56
	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	9	8						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延入所者数（人）	1,051	1,046				
短期入所生活介護延利用数（人）	2,752	2,202				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	552,612,343	552,503,434	0	0	0
	指定管理料（清算後）	148,106,887	149,950,815			R5:食材費補助2,209,567円を含む
	利用料金収入	402,779,771	400,944,397			
	その他収入	1,725,685	1,608,222			その他の収益、サービス活動外収益
	支出	533,387,916	532,058,992	0	0	0
	職員人件費	343,773,632	345,965,005			
	光熱水費	37,276,754	32,088,206			
	修繕費	7,966,194	10,411,973			
	事業運営費	49,494,165	49,365,305			
	施設管理経費	93,667,840	93,069,464			
	その他経費	1,209,331	1,159,039			
	差引収支額	19,224,427	20,444,442	0	0	0
年度協定書で定める指定管理料		151,511,000	149,378,000			

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					90 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和4年度に比べ、コロナ禍で中止していた面会と行事を徐々に再開できました。利用者の余暇の時間の充実を図るため、クラブ活動や行事等の内容を工夫し運営することでサービスの向上に努めました。少子高齢化に伴う介護員不足に備えて、新規採用に注力するとともに、現在雇用中の職員が長く働けるようにICTなどを導入した労働環境の向上に努めています。しかし、まだ充分とは言えないため、今後は補助金等を効果的に使いながらこれらの取組を強化していきます。
区（施設所管課）による評価	また、利用者の個性性を重視し、個々のニーズに合わせた個別援助計画の立案・実施・評価を行っています。協力病院との緊密な連携により、医療対応の必要な利用者を受け入れ、さらに最期まで住み慣れた場所で安心して過ごすことができるように、意向に添った看取りケアを実践しました。今後もサービスの質の向上を図ると共に、収入の安定と経費削減の経営マネジメントに努め、利用者が安心して生活できるよう運営してまいります。
	施設内の修繕箇所や利用者状況の報告など、区と指定管理者で密な連携をとることができました。今後も、更なる行事等の工夫や提携病院とのつながりを生かした入居者一人一人に寄り添ったサービス提供を目指していくとともに、積極的なICT活用による職員の労働環境の向上に取り組んでください。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価	S
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）